

## Nichijou Tradução EP01 (Parte 02)

にちじょう

日常 = dia a dia, rotina, vida cotidiana.

1- は〜い！

．．．

2- (校長) ええ <sup>みな</sup> 皆さん おはようございます。

3- <sup>はる</sup> 春になり <sup>あた</sup> 新 <sup>ねん</sup> しい年度が始まりましたが、  
<sup>さむ</sup> まだまだ寒い日が続きますね。

4- <sup>わたし</sup> 私は <sup>みな</sup> 皆さんの <sup>ばい</sup> 倍は <sup>さむ</sup> 寒いんですけどね。

【<sup>こう</sup> 校 <sup>ちやう</sup> 長の <sup>わら</sup> 笑い <sup>ごえ</sup> 声】

5- とにかく カゼをひかないように

6- いいですか これは <sup>こう</sup> 校 <sup>ちやう</sup> 長 <sup>せん</sup> 先生 <sup>せい</sup> との <sup>やく</sup> 約束 <sup>そく</sup> です。

7- <sup>みな</sup> 皆さんが <sup>い</sup> 言う <sup>き</sup> ことを聞かなかったら、  
<sup>こう</sup> 校 <sup>ちやう</sup> 長 <sup>せん</sup> 先生 <sup>せい</sup> は．．．

8- <sup>がっこう</sup> ほかの学校の校長先生に なちやいますよ  
〜

【<sup>こう</sup> 校 <sup>ちやう</sup> 長の <sup>わら</sup> 笑い <sup>ごえ</sup> 声】

9- (ユウコ) ミオちゃん ミオちゃん

10- (ミオ) 何<sup>なに</sup>? 話<sup>はな</sup>してると怒<sup>おこ</sup>られるよ。

11- (ユウコ) あのさ 校<sup>こう</sup>長<sup>ちょう</sup>って 自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>のギ  
ャグが古<sup>ふる</sup>すぎるこ<sup>き</sup>と気<sup>き</sup>付<sup>づ</sup>いてないのかな。

12- 毎<sup>まい</sup>回<sup>かい</sup> 受<sup>う</sup>け入<sup>い</sup>れられてないことぐらい、  
本<sup>ほん</sup>人<sup>にん</sup>が一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup> 分<sup>わ</sup>かっていると思<sup>おも</sup>うんだけど。

13- (ミオ) うーん どうなんだろうね。

14- (ユウコ) もしかして、受<sup>う</sup>け入<sup>い</sup>れられてな  
いことを知<sup>し</sup>りながら

15- なお努力<sup>どりよく</sup>する姿<sup>し</sup>勢<sup>せい</sup>を現<sup>げん</sup>代<sup>だい</sup>のすれた若<sup>わか</sup>者<sup>もの</sup>に見<sup>み</sup>  
せているの・・・かも

16- そうだとすれば、この校<sup>こう</sup>長<sup>ちょう</sup>かなりの手<sup>て</sup>練<sup>だ</sup>  
れ!

17- マイちゃん?

18- (ミオ) マイちゃんが!

19- (ユウコ) まさか あのオヤジギャグが?

20- しかも マイちゃんが こんなに笑<sup>わら</sup>って  
るこ<sup>は</sup>ろ 初<sup>は</sup>め<sup>み</sup>て見<sup>み</sup>たよ。

21- よし! こ<sup>ひと</sup>こは一つ。マイちゃん!

22- (マイ) うん?

23- (ユウコ) 《なぜだろ<sup>いま</sup>う? 今<sup>いま</sup> こ<sup>い</sup>こで言<sup>い</sup>  
たら、すべ<sup>う</sup>て<sup>し</sup>なを失<sup>き</sup>いそ<sup>き</sup>うな気<sup>き</sup>がする。》

24- (マイ) ユウコ ごめん やっぱ何でもない。

25- 《やっぱり 気付くまで・・・取るのはやめよう》

・・・

26- (教頭先生) では、続いて サクライ先生から生徒指導のお話です。

27- サクライ先生 お願いします。

28- (タカサキ先生) あの・・・サクライ先生

29- (サクライ先生) はいっ

30- すいません 生徒指導のサクライです。

31- うっ すいません・・・ええ・・・ああ・・・

32- 《やっぱり こんな人数いると緊張する》

33- 《ダメダメ こんなんじゃ。いつまでたっても 理想の教師に近づけないんだから》

34- 《言うべきところで ビシッと言わないと。そうだ！》

35- 最近 校内でヤギをよく見かけるんですが、ヤギは 学校には あまり持ってこないようにしましょう。

36- (コージロー) ヤギの・・ヤギの何が悪い！？  
なに わる

37- ヤギで通学するのは校則違反ではないであろうが！  
つうがく こうそくいはん

38- (ユウコ) ミオちゃん あれササハラ先輩じゃない？  
せんぱい

39- (ミオ) へええ そーお？

40- (サクライ先生) ううう ヤ・・ヤギを許可します！  
せんせい きょか

【銃声】 (生徒たち) うわっ！  
じゅうせい せいと

41- (立花ミサと) 却下よ！却下 ド却下よ！  
たちばな きゃつか きゃつか きゃつか

42- ヤギなんか 持ってきていいわけないでしょ！  
も

43- (笹原コージロー) そうは言うが 立花ミサとよ  
ささはら い たちばな

44- なぜ私が二本足でスタコラ歩かねばならんのだ。  
わたし にほん あし ある

45- 大体 笹原家の長男というのは・・・  
だいたい ささはらけ ちやうなん

46- (立花ミサと) 何が笹原家の長男よ！あん  
たんち 普通の農家でしょうが  
たちばな なに ささはらけ ふつう のうか

47- <sup>ささはら</sup>（笹原）<sup>なん</sup>だから何だ。<sup>ちょうなん</sup>長男が<sup>ちょうなん</sup>長男と<sup>い</sup>言っ  
て <sup>なに</sup>何が<sup>わる</sup>悪いのだ。

48- （フェツちゃん）ふえっ <sup>ささはらくん</sup>笹原君ちって  
<sup>のうか</sup>農家だったんだ。

49- （ウェボシー）なんか <sup>きぶん</sup>だまされた気分

50- （ミオ）あの<sup>じてんしゃ</sup>自転車<sup>お</sup>置き<sup>ば</sup>場のヤギ <sup>ささはら</sup>笹原  
<sup>せんぱい</sup>先輩のだったんだ。

51- <sup>しろ</sup>白ヤギに<sup>の</sup>乗った<sup>ささはら</sup>笹原<sup>せんぱい</sup>先輩が<sup>むか</sup>私を迎え  
に・・・

52- <sup>ささはら</sup>（笹原）ハッピーニューイヤー

53- （ミオ）ミ・・・ミートゥー

・・・

54- （サクライ先生）<sup>じてんしゃ</sup>自転車<sup>の</sup>に乗りながらの  
<sup>けいたい</sup>携帯は<sup>たいへん</sup>大変 <sup>きけん</sup>危険です。

55- <sup>ぜったい</sup>絶対 やめましょう。

56- それと<sup>さいご</sup>最後に・・・

57- 今朝、<sup>け</sup>私<sup>さ</sup>の<sup>わたし</sup>げた箱に<sup>ばこ</sup>弥勒<sup>みろく</sup>菩薩<sup>ぼさつ</sup>が<sup>はい</sup>入って  
いました。

58- こういうイタズラをするのは よくないと  
<sup>おも</sup>思います。

59- （ユウコ）すいませーん <sup>とお</sup>通りまーす

60- (マイ) 彌勒菩薩<sup>みろくぼさつ</sup> . . .

61- (ユウコ) マイちゃん! 急に<sup>きゅう た ど</sup>立ち止まらないで

62- (マイ) あっ ここら辺<sup>へん</sup> デジャブかもしれない。

63- (サクライ先生) 誰が<sup>だれ</sup> やったんですか?  
怒らないから手を<sup>て あ</sup>上げてください。

64- 出てくるまで<sup>で</sup> 今日<sup>きょう</sup>はこのまま朝礼<sup>ちょうれい</sup>ですよ。

65- (男子生徒1)<sup>だんしせいと</sup> 誰だよ? (男子生徒2)<sup>だんしせいと</sup>  
お前<sup>まえ</sup> 出ろよ。<sup>で</sup>

66- (校長)<sup>こうちょう</sup> いやあ 桜井先生<sup>さくらい せんせい</sup>が誕生日<sup>たんじょうび</sup>だと  
聞いていたもので<sup>き</sup>

67- いやいや そうですか 彌勒菩薩<sup>みろくぼさつ</sup>はダメですか。

68- ええ . . .

69- 誕生日<sup>たんじょうび</sup> よかれと<sup>おも</sup>思って プレゼント  
彌勒菩薩<sup>みろくぼさつ</sup>はいらぬとスルー<sup>こうちょう</sup> 校長

70- (教頭)<sup>きょうとう いじょう</sup> 以上で朝礼<sup>ちょうれい</sup>を<sup>お</sup>終わります。

71- 校長先生<sup>こうちょうせんせい</sup> 今日まで<sup>きょう</sup> ありがとうございます  
ました。

72- (校長) 教頭きょうとう～～！！

・・・

【ボタン】

73- (ミオ) この消火栓しょうかせんのボタンって　すごく  
おお押したくなる魔力まりよくがあるよね。

74- (ユウコ) そうだね

75- おお押してみたら？それ前まえ　おお押してみたら、音おと  
とか鳴ならなかったし。

76- (ミオ) えっ　ホント？

かさいほうちき  
【火災報知器のベル】

77- (男子生徒1) えっ　火事？(男子生徒  
2) ウソ！

78- (女子生徒1) どうすんの？これ　逃にげ  
んの？

79- (男子生徒3) みんな　とりあえず校庭こうていに  
で出るぞ！

せいと  
【生徒たちのざわめく声こえ】

80- (男子生徒4) てめえ　なに　人の背せなか中  
おお押してんだよ？

81- (男子生徒5) お前まえが押おしたんだろ！

82- (男子生徒 4) 何<sup>なに</sup> 言<sup>い</sup>ってんだ？ 大体<sup>だいたい</sup> お  
前<sup>まえ</sup> 前<sup>まえ</sup>からムカついてたんだよ！

83- (女子生徒 2) 止めなよ！ 人<sup>ひと</sup>が死ぬ<sup>し</sup>かも  
しれないのよ！

84- (男子生徒 6) まずは逃<sup>に</sup>げろ ケンカは  
それからだ！

### 【Helvetica Standard】

85- (死神<sup>しにがみ</sup>) あのお

86- (おじいさん) うわああ！！

87- (死神<sup>しにがみ</sup>) あ の すいません ケー<sup>ケー</sup> ワイ<sup>ワイ</sup> 何<sup>なん</sup>  
でしょう？

88- (死神) あ の ・ ・ (女性<sup>じよせい</sup>) きゃー！！

89- (死神) ケー<sup>ケー</sup> ワイ<sup>ワイ</sup> 何<sup>なん</sup>なんでしょう？

90- すいませーん KY<sup>おし</sup> について教<sup>おし</sup>えてくださ  
ーい。

91- (男性<sup>だんせい</sup>) 助<sup>たす</sup>けてくれえ！！

92- (死神<sup>しにがみ</sup> 隊長<sup>たいちょう</sup>) おい！

93- (死神) あっ 隊長<sup>たいちょう</sup>。KY<sup>なん</sup> って何<sup>なん</sup>でしょう  
か？

94- (死神<sup>しにがみ</sup> 隊長<sup>たいちょう</sup>) お前<sup>まえ</sup>のことだよ。

． ． ．



95-	（富岡 先生）	2年 B組	笹原 幸次郎
96-	至急	職員室の富岡のところまで来るよ うに	
．．．			
97-	（富岡）	確かに	校則 違反ではないがな
98-	ヤギは	ないだろ。	ヤギは
99-	なんとかならんか？		
100-	徒歩がイヤなら、	自転車でも	いいんだ ぞ。
101-	ヤギでなければ		
102-	（笹原）	御仁	
103-	（富岡）	富岡だ。	
104-	（笹原）	富岡。	
105-	先生をつけろ。		
106-	（笹原）	先生、ヤギではなくー	
107-	笹原コジロウと	呼ぶわけには	いかない か？
108-	（富岡）	今は	ヤギだ。
．．．			
109-	（ナノ）	《私は東雲ナノ	っていいま す。》

110- 《一緒に<sup>いっしょ</sup>住<sup>す</sup>んでいる ハカセが<sup>つく</sup>作<sup>つく</sup>ってくれたロボットです。》

111- 《ハカセは <sup>なん</sup>何<sup>なん</sup>らかの<sup>けんきゅう</sup>研<sup>けん</sup>究<sup>きゅう</sup>をして<sup>して</sup>いるらしくー》

112- 《一日<sup>ついたちじゅう</sup>中<sup>ちゅう</sup> 家<sup>いえ</sup>にいます。》

113- 《私<sup>わたし</sup>は <sup>その</sup>その <sup>てっだ</sup>お<sup>お</sup>手<sup>て</sup>伝<sup>でん</sup>いをしながら、  
<sup>ひ</sup>日<sup>ひ</sup>々<sup>び</sup> <sup>す</sup>過<sup>か</sup>ごしています。》

114- ハカセ～ <sup>ぎゅうにゅう</sup>牛<sup>ぎゅう</sup> 乳<sup>にゅう</sup> <sup>あつた</sup>温<sup>あつ</sup>めまし・・・た！

115- 《秀<sup>ひい</sup>でた<sup>きのう</sup>機<sup>き</sup>能<sup>のう</sup>は <sup>つうかく</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>んが、<sup>つうかく</sup>痛<sup>つう</sup>覚<sup>かく</sup>は  
あるよう<sup>よう</sup>です。》

116- (ハカセ) ナノ どうしたの？

117- (ナノ) ハ・・・ハカセ <sup>こゆび</sup>小<sup>こ</sup>指<sup>ゆび</sup>が・・・小<sup>こ</sup>指<sup>ゆび</sup>  
があ～！

118- (ハカセ) とりあえず <sup>だいじょうぶ</sup>これ<sup>これ</sup>で<sup>で</sup>大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>だ  
から

119- (ナノ) 《秀<sup>ひい</sup>でた<sup>きのう</sup>機<sup>き</sup>能<sup>のう</sup>は <sup>つうかく</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん  
が、<sup>こゆび</sup>小<sup>こ</sup>指<sup>ゆび</sup>が<sup>と</sup>取<sup>と</sup>れる<sup>と</sup>そう<sup>と</sup>です。》

・・・

120- ハカセ この<sup>なん</sup>ネ<sup>なん</sup>ジ<sup>なん</sup>は<sup>なん</sup>何<sup>なん</sup>なん<sup>なん</sup>ですか？

121- (ハカセ) ああ <sup>まわ</sup>回<sup>まわ</sup>した<sup>まわ</sup>こ<sup>まわ</sup>とな<sup>まわ</sup>か<sup>まわ</sup>った<sup>まわ</sup>っ  
け？

122- (ナノ) はい たまに<sup>まわ</sup>回りますが

123- (ハカセ) これは こうやって<sup>まわ</sup>回すと  
ねえ

124- (ナノ) <sup>なん</sup>何ですか？

125- 《すいません <sup>ひい</sup>秀でた<sup>き の う</sup>機能 <sup>まんさい</sup>満載で  
す。》

126- (ハカセ) ねっ <sup>おもしろ</sup>面白いでしょ？

127- (ナノ) もしかして・・・これだけのた  
めにネジを？

128- (ハカセ) そうだよお

129- (ナノ) もしかして これだけのために  
ねじを？

130- (ハカセ) そうだよお

131- (ナノ) <sup>はず</sup>外してください～

132- (ハカセ) ヤダー！

133- なぜならカワイイからです。

134- (ナノ) <sup>はず</sup>リアルに外してください。

135- <sup>わたし</sup>私は <sup>ふつう</sup>もっと普通がいいんです。

136- <sup>ふつう</sup>普通の<sup>ひと</sup>人みたいに <sup>すわ</sup>イスに座ったり  
<sup>ねがえ</sup>寝返りを<sup>う</sup>打ったりしたいんです。

137- これじゃあ <sup>がっこう</sup>学校にも<sup>い</sup>行けないです。

138- いっそ <sup>ひとがた</sup> 人型ロボットでなければよかったのに

139- (ハカセ) ナノ・・・うっ うっ

140- (ナノ) あああ！な・・・なんて ウソですよ ウソ

141- もう イヤだなあ ハカセは

142- (ハカセ) じゃあ <sup>と</sup> 取って <sup>あくたがわしょう</sup> 芥川賞  
取って

143- (ナノ) なんで？

144- (ハカセ) 芥川賞！芥川賞！

145- (ナノ) 《そんな<sup>まいにち</sup>毎日です》

146- (男子生徒) <sup>だんしせいと</sup> ここ どこだろう？

## 【Ending】

147- <sup>おやゆび</sup> (親指) こんにちは <sup>あし</sup> ナノちゃんの足の<sup>おやゆび</sup>親指です。

148- <sup>ようりょう</sup> 容量は <sup>いち</sup> 1 ギガです。

149- もうちょっと <sup>ほ</sup> 欲しいところですね。

150- <sup>じかい</sup> 次回の「<sup>にちじょう</sup>日常」は <sup>だい に わ</sup> 第2話です <sup>たの</sup> お楽しみに